

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ジャルダン 金立教室		公表日		R7年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・目的に応じた活動ができるよう空間を仕切る等の工夫をしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	・その日の利用者数によっては忙しい時もあるが状況を見ながら活動の内容等で調整できている。 ・配置数は満たしている。	・利用者が多い時、送迎や保護者対応で職員がとられ子どもに関わる指導員が足りない場合や、一人ひとりと深く関わるためにはもう少し配置人数を増やすことが必要だと感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・借家のため改善できない箇所もあるが、階段手前にベビーゲートを設置したり、玄関扉にチェーンをつけたりして配慮している。	・借家のため十分ではないが、設備が必要な際は都度相談しながら環境を整えていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また	5		・日々状況に応じて環境を変化させ活動しやすい空間を作って、衛生面にも気を付けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・静かに過ごしたい時、学習したい時、歌いたい時等、活動に合わせてそれぞれのペースでできるよう部屋を区切っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・できるだけ全員で改善するための話し合う時間を作っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・会議を設け、職員全員で話し合い改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・日々話し合えるようにしており、上司には会議等で伝えている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		・現在外部評価はできていないので今後検討が必要	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・会議の時間を利用して事業所内研修をしたり、外部研修受講の機会を設けている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・作成し法人HPに公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・一人ひとりに合わせて作成し、全職員で確認し意見を出し合っている。 ・児発管と職員が連携し、報告や話し合いを重ねて子どもの課題を考えることができている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・いつでも話し合い共通理解できるようにしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・気がついた時にはその日のうちに話し合いができる環境を作っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		・今後取り入れていきたいと思う。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・指導員との話し合いを持ちながら計画し、確認しながら設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・職員の意見を反映している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・色々な職員からアイデアを出し合い固定化しないよう工夫している。	・利用者が環境に慣れたら新しい活動を取り入れる等して広げていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・一人ひとりの状況に合わせて活動への取り組みをしその日の情緒によっても対応できるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・毎日支援前に話し合い確認し連携しながら支援をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・できるだけその日の内に振り返りをするが、終了後に難しい時には、翌日の朝礼の際に振り返り等を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・一人ひとりの記録を日誌に記録し、特に伝達が必要な場合は共通のノートに詳細を記録し支援の改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・指導員の気付き等があった際はモニタリング日でなくとも見直しを行なっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		・4つの基本活動ができるような支援にしている。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・日々の生活、活動の中で自己選択できる声かけや自己決定できる活動の工夫をしている。 ・一人ひとりのやりたいことを自身で伝えられるような声かけをして自主性が育つようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・児童発達管理責任者が参加し翌日までは内容の報告を行う。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・子どもの気になる行動があった時など保護者を通し連携を取るようになっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・送迎の際に様子等を伝えてもらっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	・必要な場合は保育園や事業所と支援会議等で情報共有する機会がある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4		・現在対象者がいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		・必要があれば連携を図っていききたいと思う。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	・地域のイベントへ参加させていただいている。 ・長期休みは利用している。	・曜日や時間の調整が難しいが交流できる機会を増やすよう検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		・今の所参加したことがないので、要請があれば参加していきたい。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状態や課題について共通理解を持っているか。	5		・保護者から要望を伝えやすいよう送迎時には一言伝えるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	・情報提供等を行っている。	・家族支援の必要性を感じるので、研修や情報提供をどのように行なっていか検討していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・利用契約をされる際は、提示しながら説明している。	
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・家族の意向は確認してから作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・時間を設けて説明し、確認してもらっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・家族から相談を受けた際はその都度対応し、子どもの様子や保護者の様子を適宜みながら相談の機会を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5		・今年度初めて機会を設けたが、保護者同士の意見交換もありとても好評だったと感じる。保護者が参加しやすいよう日程も二日間設けた。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	・現在苦情はないが、あった場合は迅速に対応していきたい。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・お便りやHP、SNS等で活動予定や活動の様子を発信している。 ・紙のお便りでは保護者向けに顔出しで作成し、SNSでは動画等でよりわかりやすい支援内容を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・入所時に保護者に説明し、職員にも取り扱いについて話す機会を設けている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・できるだけ小さな気づきも伝え、気になることも聞き対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	・ハロウィン等の行事の際に交流したり、地域を散策して触れ合う機会を作っている。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・指導員内で役割りを決め、子どもを含めた訓練も行っている。	
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・年に2回、非常災害を想定して子どもを交えての避難訓練を実施している。訓練前には確認等、必要な話し合いをしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・服薬や病気の状況は確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	・入所の際に聞き取りをしているが現在該当者はいない。	・対象者がいた場合には、指示書に基づき対応していきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・指導員にも周知し支援に繋げている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・入所時に保護者に提示し説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・今後の予防策を話しあっている。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・年3回の研修を計画的に行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・入所時に提示し説明している。	